

「琵琶湖大橋有料道路のあり方に関する研究会」について

第3回「琵琶湖大橋有料道路のあり方に関する研究会」を開催しましたので報告します。

1. 第3回研究会概要

開催日時：平成26年12月1日 13:00-15:15

議 事：琵琶湖大橋有料道路管理区間の課題・対応方針について

- ①道路網の課題の確認
- ②利用状況および利用者意見等
- ③課題への対応

2. 主な発言

【座長のまとめ】

- ・ 道路網の課題の確認については、各委員とも概ね妥当な結果との認識。
- ・ 利用者意見であるアンケートについてはいろんな読み方があることから、アンケートの読み方を事務局で整理し直してまとめること。
- ・ 残余財産の活用をここで議論するのめどうかとの意見もあったが、研究会として財源の活用についての考え方を示すことは可能である。
- ・ 次回、県において整備手法のたたき台を提示してほしい。
- ・ 琵琶湖大橋は県民生活にとっては大きな意味を持つ道路である。使えない場合はダメージが大きい。将来も長く続けられるような対応についての検討が必要。

【委員からの意見】

- ・ 建設有料で事業を追加することを望むが、財源を確保できるなら国道477号(琵琶湖大橋から湖西道路の間)の4車線化が着実に実施されることが大事。
- ・ 早期に整備が可能な財源を確保できるなら話は別で、有料事業を続けてさらに整備するといった議論にはならない。
- ・ 損失補填引当金と出資金は道路財源に充てるべきもの。交付金事業であれば、より多くの事業が可能。これを踏まえ、ここで議論している道路整備と関連付けた結論に持っていけばよいと考える。
- ・ 利用者は安くなるか、無料がいいというのがアンケートで鮮明に出ている。
- ・ 有料道路なのだから、利用者の意見は重要。建設有料と維持有料は分けて考えるべき。現時点で維持有料制度の適用が難しいから、建設有料で維持有料の制度改正までひっぱるという話は避けるべきである。
- ・ 出資金等を道路整備のために確保するのはみんなの努力次第。利用者が払ってたまった金額なのだから、特定財源として確保し、課題をつぶしていくべき。

3. 今後の予定

第4回：平成27年1月(予定)

議題；琵琶湖大橋有料道路管理区間の課題・対応方針について

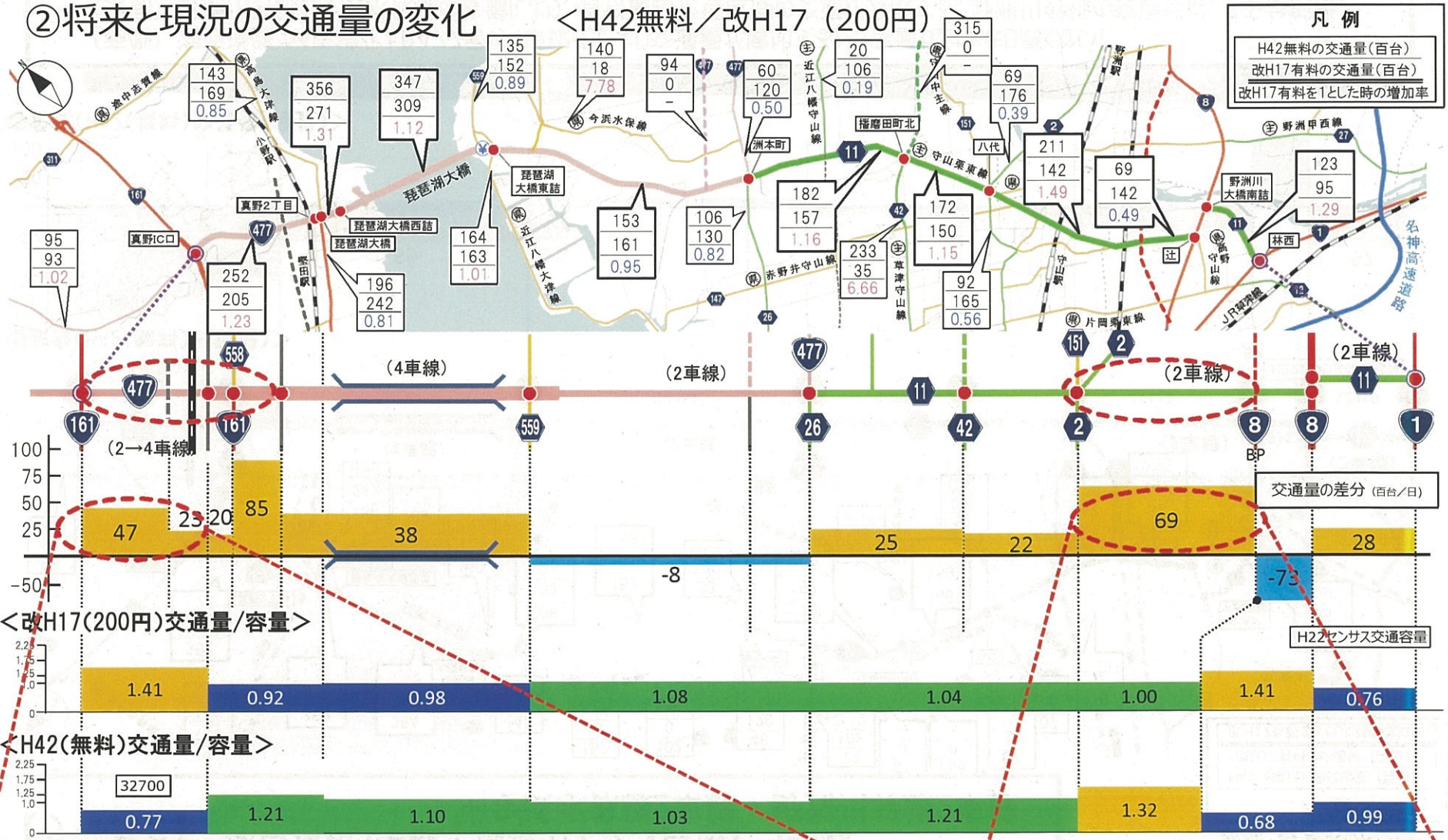
第3回研究会資料 (抜粋版)

資料1

【琵琶湖大橋周辺道路網の課題～第2回研究会の課題の確認～】 -第2回研究会資料 再掲-

② 将来と現況の交通量の変化

<H42無料/改H17 (200円)>



○交通量調査結果より・・・現状において断面交通容量に対して実交通量が大きく超過
 ○将来交通量推計結果より・・・将来において交通量が増加

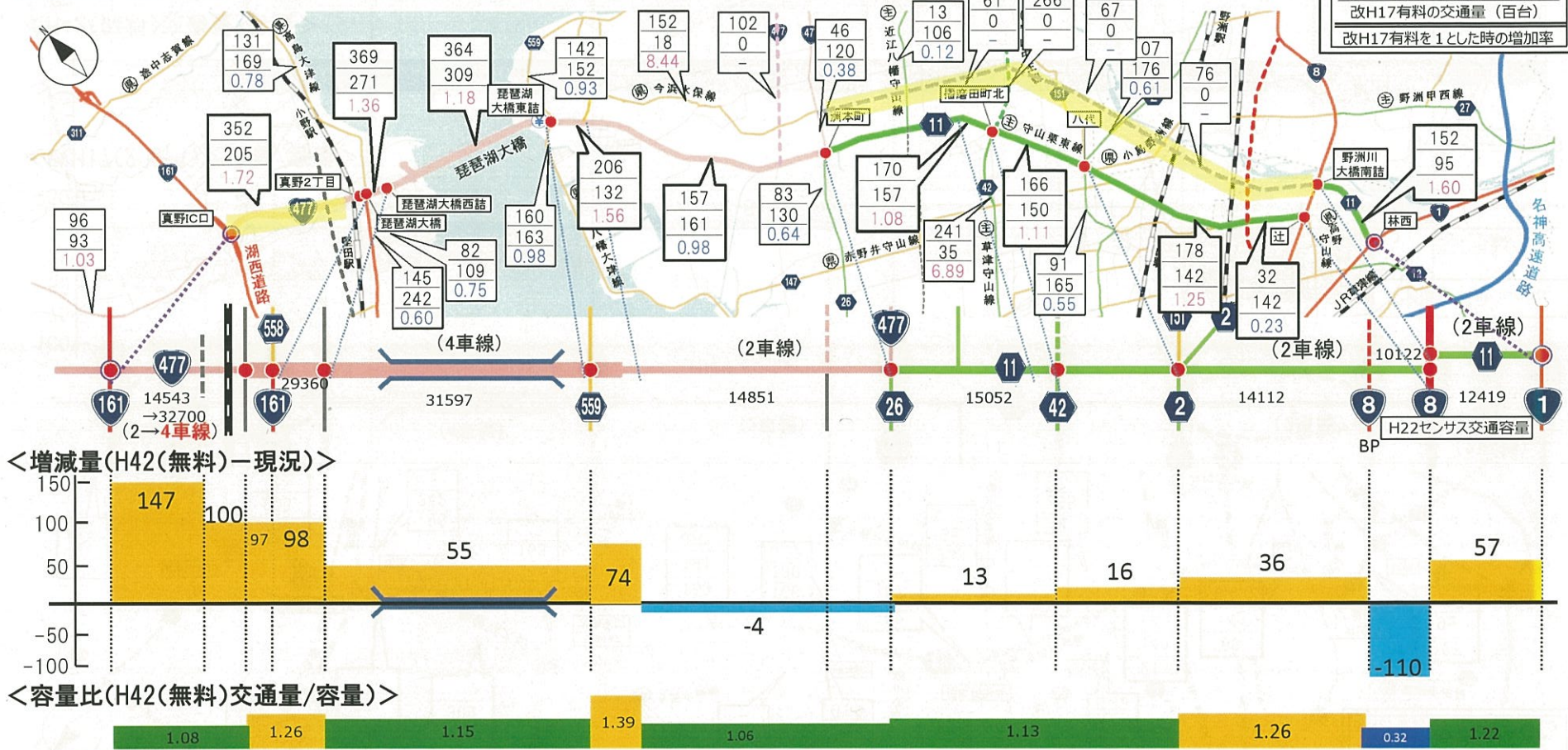
○将来交通量推計結果より・・・交通量が増加

**【ケース3】 湖西道路4車線 + 国道477号【西側】 4車線
+ 今浜水保線2車線 + 野洲川幹線2車線**

前提: 将来ネットワーク

凡例

H42(無料)の交通量(百台)
改H17有料の交通量(百台)
改H17有料を1とした時の増加率



(西側) 湖西道路の4車線化とR477号の4車線化により交通量が増加するが、容量比はあまり高くない。
(東側) 野洲川幹線と今浜水保線の整備により、有料道路管理区間の交通が分散する。野洲川幹線の交通量は、7千台前後。

~まとめ~

琵琶湖大橋を挟んで、それぞれのケースによる東西間の影響は少ない。
⇒西側、東側を切り離して考えることが可能。

(西側) 現状においても、将来においても2車線のままであれば、容量が不足。
⇒4車線整備が必要と考えられる。(道路整備アクションプログラム2013 事業化検討路線)

(東側)
○野洲川幹線ルートから今浜水保線につながる2車線ルートにより、守山栗東線の洲本町交差点~R8バイパス間の増加分が半減。
○野洲川幹線の4車線の必要性は低い
⇒2車線によるネットワークを検討

■ 利用状況および県民の意見 ～利用者アンケート(n=629人)～

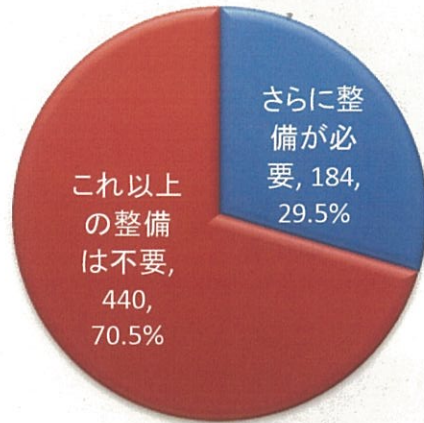


図1 整備の必要性

これ以上整備は不要と考える利用者が70%強

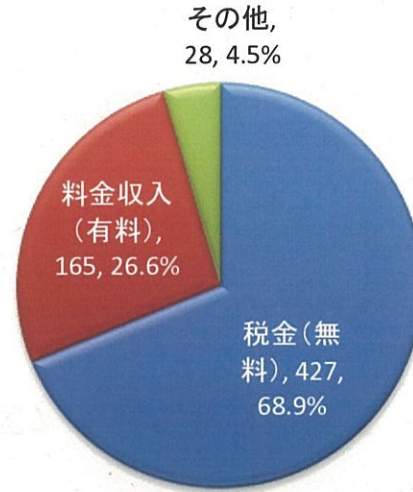


図2 維持管理の財源

税金で管理することがよいと考える人が約70%

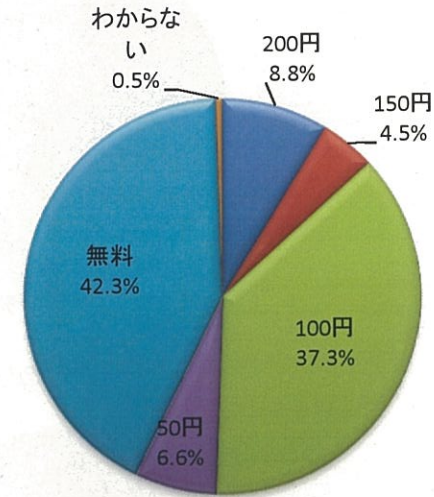


図3 支払意志額

無料が最も多い。次に100円

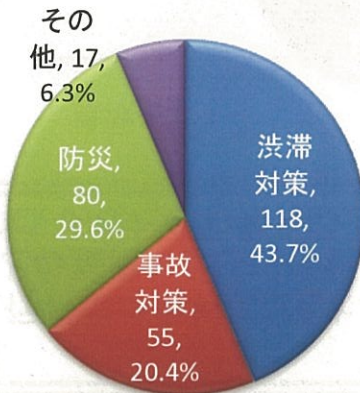


図1-1 通行料金で負担してもよい整備内容

※整備は必要と考える人(184人)の集計

1位 渋滞対策、2位 防災対策、3位 事故対策

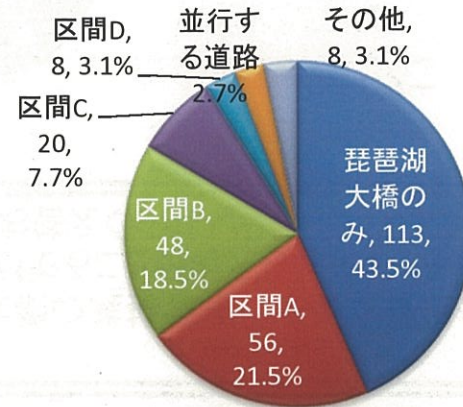


図1-2 通行料金で整備してもよい範囲

※整備は必要と考える人(184人)の集計

琵琶湖大橋本体およびA区間、B区間で約80%

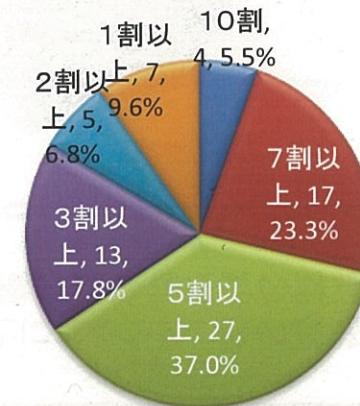


図1-3 利用割合

※整備は必要と考える人(184人)の集計

琵琶湖大橋利用者の5割以上が利用する時に料金で整備してもよいと考える人が最多(40%弱)
※5割より高い割合を選択した人は全体の70%弱

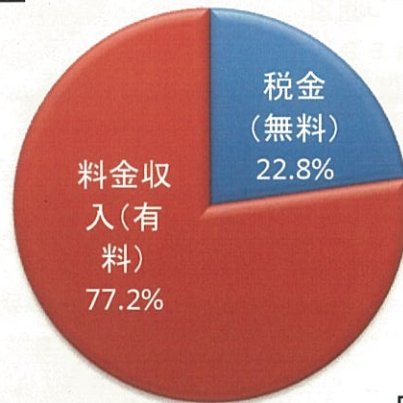
■ 利用状況および県民の意見

～ 県民アンケート(H25県政モニター(n=399人)、webアンケート(n=700人))～

問

通行料金が無料になると、琵琶湖大橋の維持管理に必要な費用を税金で賄うことになるため、他の道路や橋などの整備および維持管理に影響がでることが考えられます。そこで、琵琶湖大橋の維持管理費の財源について、あなたのお考えに近いものをお答えください。

県政モニター



webモニター

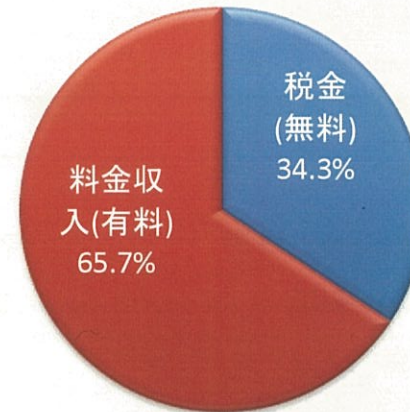


図7 維持管理費の財源

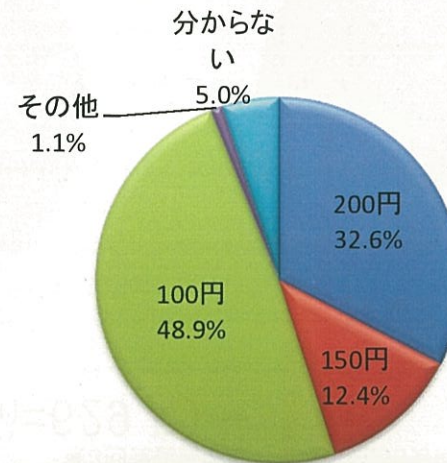
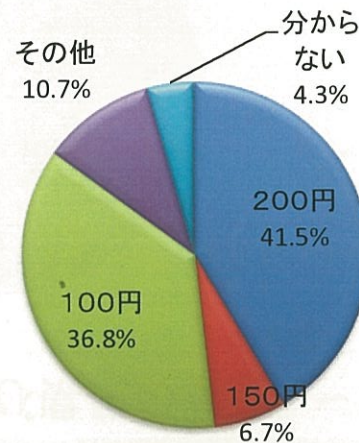


図8 支払意志額